



2010年1月15日

ロイヤル・カリビアン・クルーズ  
ハイチ地震への人道支援について

**Royal Caribbean Cruises Provides Humanitarian Relief to Haiti After Earthquake**

マイアミ 2010年1月15日- ロイヤル・カリビアン・クルーズ社はハイチのラバディールにプライベート半島を所有し、30年来投資を行っております。今回の大地震により、首都ポルトープランスを中心に壊滅的な被害を受けたことについて、人道支援として100万ドルを提供することを決定しました。また、「Food for the Poor」、「Pan American Development Foundation」、「Solano Foundation」、などのNGOや慈善団体と協力し、ハイチの人々に支援を行っております。さらに、クルーズ客船にも物資や食糧を積み込みハイチに届けています。

ロイヤル・カリビアン社の会長兼CEO、リチャード・D・フェインは「ハイチの地震による被害は壊滅的です。緊急の支援だけでなく長期にわたって復興支援が必要な状況です。当社としては緊急の支援に加え、長期的な支援、そして当社で働いている何百名ものハイチ人とその家族に対しても支援をしております。今回の支援金に加え、ロイヤル・カリビアン社は引き続きラバディールへのクルーズ客船の寄港を続けることで経済的な支援をしていきたいと考えております。」と述べました。

ハイチから国連へ派遣されたレスリー・ボルテール特使は「ハイチが直面している悲惨な経済と社会的な状況を鑑みて、クルーズ客船がラバディールに継続して寄港してくれることは、経済的に有益なことであると歓迎いたします。」と述べました。

1月15日に地震後初めて寄港するインディペンデンス・オブ・ザ・シーズは、途中、プエルトリコで米、豆類、粉ミルク、水、缶詰などの食糧や支援物資を積み込みました。また、ラバディールでの売り上げは、全額ハイチに寄付されます。

今後2週間では、1月18日(月)にナビゲーター・オブ・ザ・シーズ、1月19日(火)にリバティ・オブ・ザ・シーズ、1月22日(金)にセレブリティ・ソルスティスが寄港し、追加の食糧や支援物資を届ける予定です。到着した食糧は当社がハイチで長年協力しているハイチのNGO「Food and the Poor」を通じてハイチの人々に届けられます。

また、当社の運航するロイヤル・カリビアン・インターナショナル、セレブリティ・クルーズ、アザマラ・クラブ・クルーズでは、「Food and the Poor」救済基金への寄付を受け付けています。また、ウェブサイト

[www.foodforthe poor.org/royalcaribbean](http://www.foodforthe poor.org/royalcaribbean) から寄付をしていただくこともできます。

ロイヤル・カリビアン社には200名を超えるハイチ人が働いております。当社のクルー救済基金も増強し、彼らや家族への支援金に当てる予定です。

当面の緊急支援の後、長期的な復興支援に移行する際には、当社は追加の支援策を検討して参ります。

以上